

Café

カフェの話 10

レッドシューズ 3



現場を確認してから早速平面図を起こし、プランニングの作業にかかりました。オーナーの条件は、新しいスタイルのカフェで、名前は、「cafe & bar レッドシューズ」13センチの赤いハイヒールを履き、豹柄のドレスを着た女がいるというイメージの店。というものでした。イメージから考えると、いかにも妖しい酒場ですが、それに、カフェ・バーというタイトルを入れるというのです。1980年代の初め頃まで、喫茶店と、酒場とは、まったく別のジャンルと考えられていました。営業形態がまるで違って、昼間からお酒を出すお店は珍しかったのです。レッドシューズのオーナーは、そのスタイルを変えたいと考えていたのでしょう。そうは言っても完成したレッドシューズは100%BARスタイルで、ダンスフロアまであり、メニューにコーヒーなどなかったはずですが、それでも、あえてカフェバーと名づけたのは、オーナーの商売上の戦略だったのです。これは、後になって見事に当たりました。オープン後のことはまた後で触れますが、その前に、この白い紙の状態から店作りをしていかなければなりません。私は当時、プランニングを担当していました。まだ若く、さほど経験があったわけではありませんでしたが、その分勢いがあり、自由にものが考えられる利点もありました。私が、オーナーのイメージするものと、薄暗く荒れ果てたビルの地下にあった現場を見た時に感じたものを組合せて、30坪余りの平面図に書き上げたプランは、流線型にうねった大きなBARカウンターと、床の中央に平面的にパターンをかたどっただけのダンスフロアのある店でした。BARカウンターの高さは1m20cm、当時としては珍しい、迫力のあるハイカウンターでした。BARの壁には細く長く切り取った鏡をカウンターに合わせて流れるように貼り合わせ、その裏側から天井に光を放っています。鏡の前には沢山の種類の酒瓶が3段に並びます。全体が赤い壁という設定で、ところどころ、装飾の円柱を入れました。最初に提案したプランに、オーナーは即座に気に入って、そのプランで決定しました。ところが余りに自由にプランを考えた為に、現実の設計段階で、少しずつ変更が加えられました。最後に、真っ赤な店内には、風神と雷神の絵が掛けられました。1981年12月5日、レッドシューズは、ついに、開店の日を迎えました。



COLUMN

鎌倉の猫事情 第八十八話



Infomation

読者の皆様へ

鎌倉の猫事情を、ご愛読頂き有難うございます。主人公グーニー君も10歳になりました。という事は、鎌倉の猫事情も連載10周年なるというわけです。つい昨日のような気がしていましたが、早いものです。つきましては、猫事情10周年を記念して、グーニーカラー写真入りマグカップとお皿セット、1800円を、1組1300円で販売致します。数に限りがありますので、ご希望のお客様は、ミルクホールスタッフまでお問い合わせください。又、ミルクホールタイムズ総集編には、猫事情第一話から第一部終りまで掲載しています。グーニー君の、子猫時代の様々な奮闘がお楽しみ頂けるかと思います。こちら、10周年記念にて、1部1800円を、1500円にて販売致します。これから、鎌倉の猫事情は続きます。ご鼻頂のほど、よろしく願い致します。 編集部

長年、猫たちに振り回されて暮らしていると、最近のグーニーのように、妙におとなしくなったりすると、調子が狂うというものです。さすがのグーニー君も大人になったのでしょうか、夜中に歩くこともめっきり少なくなりました。たびたび我が家に襲撃をかけて来ていた近所のドラ猫たちも鳴りをひそめています。驚く事に、グーニーはあれほど命がけで守ってきた縄張りさえ、自ら徐々に狭めているのです。最盛期には、東は線路を越え、源氏山まで出掛けた行き、南は駅の構内にまで出でていたという情報もありました。小町通りの有名店である、東洋食肉店の勝手口もグーニーの縄張り内でした。東洋さんは、マスターの小学校の同級生のお家です。その勝手口に長い間座り込んでお肉の切れ端を頂いているのを見つけた時には、恥ずかしさで顔が赤くなりました。それが近頃では、私が出掛ける時小町通りの角までは一緒について来ていたのが、少し前には、泌尿器科の先までで見送るようになり、つい最近では、泌尿器科の手前で立ち止まって見送っています。「どうしたの？グーニー、行こう!」とはっぱをかけても、動きません。猫は自分が縄張りとした境界を決して越えないのです。そこは、きっちりしているもんです。乱暴者が随分と弱気になったものです。でも、自らの力を計って、自制していくという知恵には驚かされます。人間には、「年寄りの冷や水」なんてことわざもあるくらいです。案外、猫の方が賢いのかもかもしれません。



to be continued



月刊通信

8月のテーマは、和洋家具です。

日本の家は、大抵どの家も和洋折衷の様式です。近頃では、和洋折衷というよりは、和室のない洋式の住宅も増えてきましたが、それでも、部屋の中で靴を履いて過ごすことに抵抗の無い人は少ないようです。西洋の家具と日本の家具の違いは、体格の違いもありますが、室内で靴を履いて過ごしているかいないかで、造りや使い勝手が、随分変わっていると思います。日本の家具は、柔らかい畳の部屋で、裸足で使っていましたから、腰が低く、西洋のそれに比べるとなんとなく華奢に見えます。和洋折衷の家は大正・昭和初期の頃の家が一番不思議で面白く美しいです。小津安二郎の映画に出てくるような家です。昔の日本の家は廊下が部屋の外にありましたから、廊下に置くための、籐椅子とテーブルのセットが流行していました。今も、温泉旅館はその造りになっています。畳で寝転んだり、椅子に腰掛けてお茶したり、日本ならではの様式です。和と洋の家具を、色々なアイデアで、使い分けて楽しんでみては如何でしょう。

Information

ミルクホールタイムス 総集編 ¥1800

「鎌倉ミルクホールタイムス」No.201 No.202

ミルクホールタイムスを1976年の創刊号より、100号まで
人気連載中の「鎌倉の猫事情」を第一話より掲載いたしています。

ミルクホールタイムス定期購読募集

年間購読料 ¥1500

〒248-0006

鎌倉市小町 2-3-8

PHONE 0467-22-1179

FAX 05034882872

mail info@milkhall.co.jp

LIVE

ミルクホールの BAR TIME
ライブでお楽しみ下さい。

8/15 Sat.

by HALF MOON

19:30~

琢磨 仁
琢磨 啓子

HALF MOONは、愛と平和を歌います。

ライブチャージは、頂いておりません。
お気軽に、お立ち寄りください。

HISTORY

KAMAKURA

場所の記憶 38

ミルクホールのルーツ 24

以前、骨董として仕入れた商品の中に満鉄の印の入った食事用のお皿がありました。それは、昔、南満州鉄道の超特急あじあ号の食堂車で使われていたものだそうです。煙を吐き上げながら中国大陸を高速で横断し、食堂車では満鉄印の皿を、白系ロシア人達が給仕をしていたと、初老のお客様に教えて頂きました。戦争中中国に渡っていた、先代の父母も列車に乗って満鉄印のお皿を使った事があったのでしょうか？ 戦後帰国した父母が、今のミルクホールの場所に居を構えたのは50年近く前の事です。もとは鎌倉駅前に家がありました。

戦争が起きる前の事、1923年(大正12年)9月1日、日本史上最も大きな被害を出した関東大震災が起きました。震源地は相模湾沖で、震度6だった東京都内より震源に近かった鎌倉は震度7の激しい揺れに見舞われました。先代の父はその時鎌倉駅前に居り、地割れし始めた裂け目に落ちまいと、必死に絶えていたそうです。当時の写真では鶴岡八幡宮のお宮の屋根が階段の下まで滑り落ちていますから、一般の木造住宅はほぼ壊滅状態だったでしょう。

震災後再建された町並みは、昔の曲がりくねった細い路地が残され、戦災をまぬがれた戦後の鎌倉の風景として親しまれました。が、現在防災上細い路地は危険、という訳で建替えの際、道路側1mを後退して建築するという条例が出来ました。その為、建て替えられた家の前は広く、古い家の前は狭くなって、道はひょうたん型に太くなったり細くなったりしています。震災後から80数年を経て、なんとか耐えてきた家々も老朽化し、また代替わりし、建て替えを迫られる事情もあり、風情ある鎌倉の裏路地の様子は、年々様変わりしています。近頃、改めて町並みを見渡すと、道も家も新旧入り乱れていて、戦災をまぬがれかろうじて保たれていた震災後の町の面影が、次第に薄れていくのだと、惜しみながらも、見送る気持ちになっています。 次号に続く



ミルクホール

骨董・ガラクタ市

蚤の市

8/22 Sat. 23 Sun.

2009 Milk Hall

ANTIQUES BAZAAR

2009年、ミルクホールでは毎月一度、テーマを決めてガラクタ・アンティーク・骨董の催事を開催いたします。

伊万里・古陶磁
和洋家具
古民芸
アンティーク

古布・古裂

ミルクホールにて
朝11時 OPEN!

8月の蚤の市のテーマは、
和洋家具です



蚤の市 入荷情報

- 大正時代水屋筆筒 二段一間 新入荷
- 明治時代 庄内筆筒各種
- 明治・大正小筆筒各種
- 明治時代蔵戸・格子衝立
- 大正・昭和初期文机各種
- 昭和初期デスク
- 昭和初期ガラス棚
- イギリス製テーブル



ANTIQUES

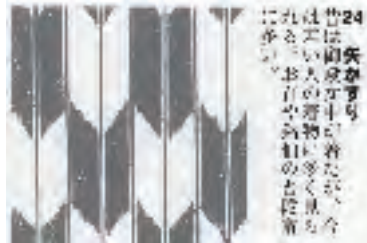
♠ 和洋家具

- アンティーク窓ガラス 大小色々
- 大正・昭和初期ガラス棚各種
- 大正時代ガラス水屋 2段
- カウンターテーブル ミシン脚 2種
- アンティークカフェチェア各種
- 戦前本箱
- 大正時代茶筆筒
- 昭和初期鏡台各種
- 裁縫台各種



♣ 古陶磁

- 錦伊万里蓋碗・小皿
- 伊万里瑠璃釉小皿
- 古伊万里染付鉢
- 弥生時代壺
- 織部長皿 5枚組
- みじん唐草小皿 5枚組
- 伊万里輪茶碗・そば猪口
- 明治平戸染付鉢 5個組
- 大正色絵向付・猪口
- 明治・大正印判各種



◆ アンティーク

- 藤田嗣治
- 聖母子像アンティーク額
- 猫アンティーク額
- 竹久夢二リト額入り
- 明治乳白ガラスシェード
- ビクターポータブル蓄音機
- 明治～戦前ガラス器各種
- 鉄製ハンガーラック
- 戦前薬ビン各種

♥ 古民芸

- 鉄漿鉢・赤漆鉢
- 御簾 一对
- 漆お椀・茶托・御膳
- 明治道具箱・樽など
- 古い鉄の金具類
- 糸巻き 盆各種



古布・古裂

✂ 着物

- ゆかた・夏単衣着物
- 大島紬・琉球紬・銘仙
- 久留米紬・お召し・縮緬

✂ 半衿・帯揚げ

- 無地の半衿 ¥500より
- 銘仙・絞りなど ¥800より

✂ 小もの 下駄 ¥1000より 扇子各種

✂ 古布

- 大島紬・絞り・銘仙など
- 1mにつき1000円ほどの価格です。
- ご自分で色々なものをお作りになる
- 方達のご要望に合わせて、多種多様な日本の布地を取り揃えています。

✂ 帯

- 半幅帯 名古屋帯
- 昼夜帯 袋帯

✂ 帯締め

¥800より

